

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

下利重下藥鈔其

夜々通り歌知し々々すから申告然しす

光緒二十二年

3

卷之四

篆
坡

恒
氏
名

音

着
續
行

市

行看御水

平壤師還西兵寒備充隊今然

備考

一本調者は飛騨者の真上関係一切を處理するものであり、

に且つ詳細に記入せよ

ニ他人から聞いたり承知した事項、其の地、参考となるべき資料等は

其力皆未竟余白に記入之

道徳
[redacted]
力
自
又
今
死
行
産

卷之六
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

97-18

92-12

イ

寫

舞鶴復ニ第七號の六

昭和三年八月一日

舞鶴引揚後援局復員部第二復員課長

各地方復員殘務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件通知(第一五號)

左記は、ナボトカより舞鶴に飯運した各頭書の若の申告によるものである

記

申告者	等級	氏名	病名	死没年月日	本籍	地	記事
元山 空	一等	[REDACTED]	病死	昭和三年八月一日	[REDACTED]	[REDACTED]	病院から来た若に於く
元山 空	二等	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

17-11

廣 戰死番号 6940

本籍地	現住所	所属部隊	入團年月	等	内地派遣	外派	勤務概要	備考
死者調査	[REDACTED]	才一ノ一 常部 西貢支隊	昭和二年三月	上等兵	昭和二年三月	昭和二年三月	良好	昭和二年三月二十日
			役種	應召	佐世保	西貢		
			兵種	正計				

死に時 月 日 時 分 秒 死に場所 死に原因 備考

死に時の状況

昭和二十三年九月十日

中 八 籍 養 護 等級 上等を許兵衛 氏名

告 不 持 出

現住所 同 右

海軍軍需部

備考

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

慎重に且、詳細に記入して下さい

一 他人から聞いたり承知した事項は其の旨を差余白に記入して下さい

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

慎重に且、詳細に記入して下さい

一 他人から聞いたり承知した事項は其の旨を差余白に記入して下さい

一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものであるから

仁

死七番 丁卯年

長

本籍地	現住所	洲島部隊	入團月日	等	内地渡邊	外地	勸務・御幸	勸務	勸務	勸務
死後青洲	隊	隊	後援	海軍上等兵	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務
勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務
勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務	勸務

時
嘉
七
年
丹
初
日
然
二
王
軍
一
月
四
日
出
發
六
月
八
日
至
五
王
軍
是
日
食
之

乳毛の脈路がりと八回移る

卷之通
九
秋
知
し
乙
卯
年
新
秋
遊
覧
記

五月二十日

申
告

八
運
變
更

未
年
陽
曆
下
土
日

者

の
武
所
解
包
人
丈
郡
張
王
太
陳

所集初稿

不若讀書以充腹者。自上下因循一切。起雖平。其心必。懷。

二道門筆圖

人

地人から南へ又承知毛の事蹟の代無事と人志の事蹟

皆未定錄
起入
下
十月
錄
三
版

卷之四

卷之四
 詩
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

死 歿 者 調 書

本 籍 地	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地	
現 住 所	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地	
所 屬 部 隊	第 二 師 團 第 二 旅 團 第 二 營 第 二 中 隊	
入 國 年 月	役 種	兵 種
官 等 級	生 年 月 日	入 籍 番 号
内地臺灣出發年月日	昭和二十一年三月十日	
戰地到着年月日	昭和二十一年三月十日	
勤 務 概 要		
発病(受傷)年月日	昭和二十一年三月十日	
病名(受傷部位)	頭に受傷致した	
発病(受傷)原因	重傷に成り、第一師團に下頭に力を入れた際に戦死した	
死亡年月日(所屬場所)	昭和二十一年三月十八日十一時半(第一)	

右中記

昭和二十一年三月五日

本 籍 地	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地
現 住 所	同 上
所 屬 部 隊	第 二 師 團 第 二 旅 團 第 二 營 第 二 中 隊
氏 名	三 重 縣 桑 名 市 柳 井 町 番 地

備 考

- 一 本調書、部隊員又、死後、桑名市地方復興局人事部に送付され、責任者は、知得した事実を、誠実に記すこと。
- 二 桑名市に在籍、特務士官、准士官、下士官、兵に付記載。
- 三 同府縣人、勿論他府縣出身者に就いては記載。
- 四 知得した範囲に於て、出来得る限り詳細に記載。
- 五 他人の聞かぬ事項、各々の診察に相違あり記載。

山公初死後

現証證明書

一昭和廿五年四月十八日

一戰死

一印 〇ニカニ地已

一終戦ノ大東況合ニ長標北ノ風景ニ連リ

前後ノ考工書々脱走シ越前県ニ入荒

四月十八日午前三時頃水ヲカニテ都立ニ於テ



海軍、越南軍との時間、激戦、於て

戦死、

右規認、

昭和廿二年十一月三日

印支海軍航空隊、機銃部、佐下士官
海軍省機務部、

右へ通し永和二万十寸。中告致し寸可

申
人
籍
名
沙

言不特也

到任所

端善

一本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるから
旗重に且つ詳細に記入して下さい
二 他人から聞けて承知した事項は其の旨を是れ白に記入して下さい

蘇蘭花記調寄鈔譜補

死後著調書

元在甘澤海氣運輪初

个五十四方八清正丸

兵種楊蘭機帆

10月
美人
一
月

葉屬

共學西記

煤
作
保

死 歿 者 証 書

本 籍 地

現 任 所

所 属 部 隊

入 隊 日

官 階

内 務 省 出 発 日

戦 死 日

西ノ六ノ九(瓦山第三五四設營隊)

昭和二年三月一日 役 檢 第二國民兵

無 業 技 術 兵 氏 名

生 年 月 日

昭和二年六月六日

兵 種

入 籍 番 號

勤 務 の 概 要

病 者 (定 場) 年 月 日

病 者 (定 場) 年 月 日

榮 失 係 赤 痢

昭和二年六月十日

病 者 (定 場) 年 月 日

昭和二年六月四日ヨリヨリ病者トシテ退還セシモノニテ、當時北朝鮮ガハ、極度ノ連、始興、羅林、海、河、赤、痢、流行、病、害、アリトシテ、以上四

右 甲 告 示

昭和二年 四月 二十日

朝鮮咸北古茂山病院

本 籍 地

現 任 所

所 屬 部 隊

氏 名

羅南陸軍病院

官 等 級 陸軍藥劑少尉

考 査

(一)本調書は部隊長又は職務取扱者等異動後復員局人事部長宛送
報する責任者は於て知得しあらずと認めらるものみに付記載す。

(二)兵種在籍の特務士官進士官下士官兵に付て記載す。

(三)同府縣人は勿論他府縣出身者に就ても記載す。

(四)在籍し方々範圍に於ても出来得る限り詳細に記載す。

(五)他人の...記載す。

終

香川縣

奉病 昭和五年六月十日
 同業 宋養良 罹病

宋養夫調業赤痢
 昭和五年六月十日

香川縣 昭和三十五年六月十日
 宋養夫調業赤痢
 昭和三十五年六月十日
 宋養良 罹病

整長

九。一度

昭和二十一年七月二十四日

朝鮮省長古茂山
（一）病死

古茂山收養所於丁未養長久調兼亦調
死亡 死骸王葬所久遺骨無一

整長氏

右同

朝鮮元山海軍航空隊

昭和二十一年七月八日

右の如く示してある事から申付致しませう

昭和二十一年九月一日

佐世保地方復興委員会事務調査係御中

敬請者此間事務田舎

佐人第四二號の一四四に依る件左記の通り田舎路一歩を

記

二階級氏名

奥書長

一死七場所

朝鮮古茂山臥客所病院

三病

腎臓病

不病時日 終戦時終上罹病

四死七年有日

昭和二十一年六月

五也承知事後直省の有無 無し

香川縣

昭和二十一年九月一日

(終)